

玉

藻

第九号

玉藻 第九号 目次

「初音草咄大鑑」の方法……………	岡 雅彦……………	1
心中天網島にみる改作の実態とその必要性……………	河島みち代……………	10
現代詩鑑賞 (三) ……………	河村 政敏……………	23
語義差と位相差……………	金子 純子……………	29
ヤドとイへの問題から		
「夫」の呼称に関する研究……………	望 月 博美……………	50
女子学生の調査を通して		
「新生」における旅……………	小林 洋子……………	62
幸田文の文学について……………	山 田 道代……………	70
彙 報……………		79

受贈図書

都大論究 第十号

東京都立大学国語国文学会

皇学館大学紀要 第十輯

皇学館大学

紀要 第五号

ノートルダム清心女子大学国文学科

山邊道 第十七號

天理大学国語国文学会

清 第十一号

清泉女子大学国語国文学会

国文学ノート 第十一

成城大学短期大学部国文学研究室

説林 第二十

愛知県立大学国文学会

大妻国文 第三

大妻女子大学国文学会

紀要 第四

大妻女子大学文学部

人文科学科紀要 第五十五輯

東京大学教養学部人文学科国文学研究室

高知大國文 第三号

高知大学語国文学会

語学文学研究 第三号

金沢大学教育学部国語国文学会

紀要 第九号

藤沢女子大学、藤女子短期大学

たまゆら 第四号

比治山女子短期大学国文学会

椋山女学園大学研究論集 第三号

椋山学園大学図書館

編集後記

「玉藻」九号を学会員諸姉の机辺にお届けする。収めた論考のうち五編は四十六年度の卒業論文である。「玉藻」用に卒業論文の一部をそのまま、或は纏め直していた。今後とも、在校生、卒業生諸姉の活躍を期待したい。なお、予算の関係で、今年度から「玉藻」の発行は年一回になったことを報告しておきます。

(岡)

玉藻 第九号

昭和四十七年十二月十日 印刷
昭和四十七年十二月十五日 発行

フェリス女学院大学国文学会

編集兼 代表者 遠藤 祐

発行人 印刷人 二橋 清

横滨市中区山手町三七

発行所 フェリス女学院大学

国文学会